

令和2年9月市議会建設水道委員会資料

第110号議案 令和2年度長崎市一般会計補正予算（第10号）

目次

ページ

[8款 土木費 1項 土木管理費]

2目 建築指導費

- ・宅地のがけ災害対策費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～4

[8款 土木費 6項 住宅費]

1目 住宅管理費

- ・ながさき住みよ家リフォーム補助金・・・・・・・・・・・・・・・・5～7
- ・定住促進空き家活用補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9
- ・繰越明許費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
40～ 41	8 土木費	1 土木管理費	2 建築指導費	1-1	宅地のがけ災害 対策費補助金	千円 40,000

1 概 要

令和2年7月の豪雨により、個人が所有する宅地等のがけが崩壊していることから、崩壊したがけの早期復旧を促し、市民の安全・安心な生活環境を確保するため、その対策工事に要する費用の一部を助成する予算を増額補正するもの。

■宅地のがけ災害に関する相談件数（令和2年7月の豪雨によるもの）

	7/6～7/30（梅雨明け）の間
崩壊後の相談件数	78件
崩壊前の相談件数	23件
計	101件（うち40件が補助金の対象）

※補助金の対象に該当しない理由（主なもの）

- ・第三者（第三者が居住している建築物や道路、公園）に被害が及ぶおそれがない
- ・がけの高さが2m以下

2 事業内容

（1）災害対策工事費に係る助成【単独】

ア 対 象 ：次のいずれにも該当するもの

- ・個人が所有する宅地等のがけであること
- ・崩壊した部分又は崩壊のおそれがある部分であること
※その両側の一定範囲を含む
- ・第三者（第三者が居住している建築物や道路、公園）に被害が及んでいる又は被害が及ぶおそれがあること

イ 対象区域：市内全域

ウ 助成額：災害対策工事費の1/3（上限：2,000千円）

■実績及び令和2年度執行状況

令和2年7月末現在

項目	種別	H29	H30	R1	R2
がけ災害 相談件数	崩壊後	32件	58件	40件	121件
	崩壊前	14件	97件	74件	94件
	計	46件	155件	114件	215件
実績件数	崩壊後	8件	10件	8件	5件
	崩壊前	-	-	-	10件
	計	8件	10件	8件	15件
実績額	崩壊後	4,895千円	9,027千円	9,894千円	5,597千円
	崩壊前	-	-	-	6,515千円
	計	4,895千円	9,027千円	9,894千円	12,112千円

※令和2年度より、「崩壊のおそれがあるがけ」の防災工事も対象。

3 事業費内訳

区分	当初予算①	補正予算②	補正後 (①+②)
件数	20件	40件	60件
内容	復旧工事 10件 防災工事 10件	復旧工事 40件	復旧工事 50件 防災工事 10件
事業費	18,000千円	40,000千円	58,000千円

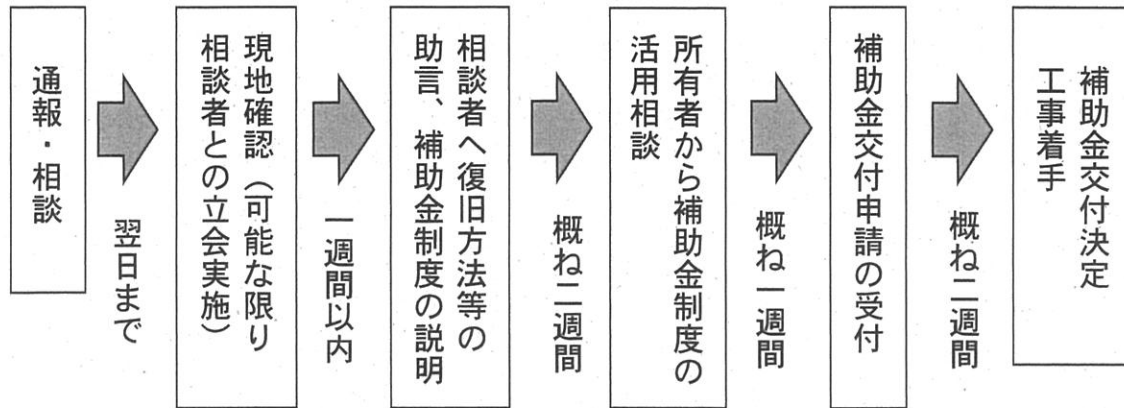
4 財源内訳

区分	総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳			申請者 負担額 ①-②
			国庫支出金	県支出金	一般財源	
当初予算	千円 54,000	千円 18,000	千円 -	千円 -	千円 18,000	千円 36,000
9月補正	120,000	40,000	-	-	40,000	80,000
補正後	174,000	58,000	-	-	58,000	116,000

■崩壊したがけの一例



5 宅地のがけ災害の相談への対応の流れ



■令和2年7月豪雨時の相談件数

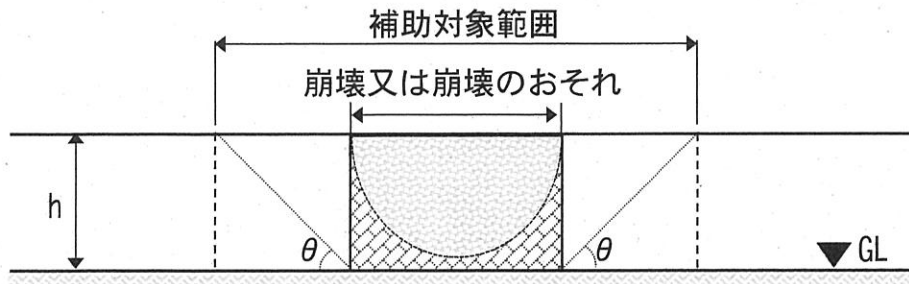
降水量出典：気象庁（長崎地方気象台）

7月		1日降水量	1時間最大降水量	宅地のがけ災害 相談件数	左記のうち 崩壊後相談件数
1日	水	0.0mm	0.0mm		
2日	木	0.0mm	0.0mm		
3日	金	6.5mm	3.0mm		
4日	土	16.0mm	7.5mm		
5日	日	45.0mm	29.0mm		
6日	月	148.5mm	24.5mm	5件	5件
7日	火	153.0mm	24.0mm	25件	21件
8日	水	0.5mm	0.5mm	9件	9件
9日	木	114.5mm	54.5mm	13件	11件
10日	金	66.5mm	26.5mm	4件	3件
11日	土	17.5mm	5.5mm	2件	1件
12日	日	15.5mm	10.0mm	1件	1件
13日	月	0.0mm	0.0mm	8件	5件
14日	火	57.0mm	24.5mm	1件	0件
15日	水	2.5mm	1.0mm	3件	3件
16日	木	0.0mm	0.0mm	7件	6件
17日	金	0.0mm	0.0mm	4件	2件
18日	土	0.0mm	0.0mm	0件	—
19日	日	13.5mm	12.5mm	0件	—
20日	月	2.5mm	2.5mm	4件	0件
21日	火	0.5mm	2.5mm	4件	1件
22日	水	0.0mm	0.0mm	1件	1件
23日	木	11.0mm	9.0mm	0件	—
24日	金	61.5mm	42.5mm	2件	2件
25日	土	7.5mm	2.5mm	0件	—
26日	日	22.5mm	14.5mm	0件	—
27日	月	90.0mm	21.0mm	5件	5件
28日	火	10.5mm	9.0mm	2件	2件
29日	水	0.0mm	0.0mm	1件	0件
30日	木	0.0mm	0.0mm	0件	(梅雨明け)
31日	金	0.0mm	0.0mm	0件	—
計		862.5mm	—	101件	78件

は降雨日

※梅雨入り：令和2年6月11日ごろ

■補助対象範囲（展開図）



■のり面の安定勾配（ θ ）

（宅地造成等規制法施行令に準拠）

がけの垂直高さ（h）	のり面の安定勾配（ θ ）
5 m以内	45度
5 m超	35度

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
42～ 43	8 土木費	6 住宅費	1 住宅管理費	1-1	ながさき住みよ家 リフォーム補助金	千円 21,298

1 概 要

住宅の居住環境改善や、市内の若手技能者の育成と技術の継承を目的として、市内に本社がある法人等に発注する住宅リフォーム工事に要する費用の一部を助成するもの。

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、次の理由により増額補正するもの。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、ながさき住みよ家リフォーム補助金を活用して、新しい生活様式に対応した住宅リフォーム（下記2（2）【リフォームイメージ】参照）を推進する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大による建設業界への影響を考慮し、事業者支援の一環として市民からの工事受注機会を増やすことで、市内経済回復の一端を担う。

2 事業内容

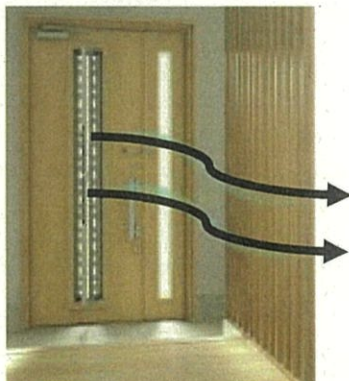
(1) 対象工事内容

- ア 換気のための通風式やタッチレスの玄関ドアへの改修など
- イ 在宅勤務のためのワークスペース確保や防音改修など
- ウ タッチレス水栓への改修など
- エ 敷地内の管工事
- オ 屋根の葺き替え、外壁の張替え
- カ 外壁の塗装
- キ 台所の改修
- ク 内装工事（壁や床の張替え[浴室、便所を含む]など）

(2) 周知方法

市ホームページなどの広報媒体を活用して市民へ周知するとともに、建設関係業者に対し、本補助金予算の拡大と、新しい生活様式に対応した住宅リフォーム推進について情報提供を行う。

【リフォームイメージ】



通風式玄関ドア



ワークスペース



タッチレス水栓

(3) 助成額

対象工事費の1/10(上限:100千円)

※ 住宅性能向上リフォーム補助金と併用可。

ただし補助金の合計額の上限を100千円とする。

3 事業費内訳

(単位:千円)

項目	補助金	事務費	合計
当初	64,500	14,707	79,207
	@75,000円×860件	報酬、共済費 ほか	
補正	20,250	1,048	21,298
	@75,000円×270件	報酬、共済費 ほか	
補正後	84,750	15,755	100,505
	@75,000円×1,130件	報酬、共済費 ほか	

4 財源内訳

(単位:千円)

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債	その他 ※2	一般財源
当初	79,207	—	—	—	29	79,178
補正	21,298	21,296	—	—	2	0
補正後	100,505	21,296	—	—	31	79,178

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

※2 雇用保険料個人負担金

【参考1】ながさき住みよ家リフォーム補助金の交付実績

	予算額 (※1) (千円)	交付 件数 (件)	交付決定額		工事費総額		経済 効果 (倍)
			総額 (千円)	1件あたり (千円)	総額 (千円)	1件あたり (千円)	
平成29年度	85,000	1,026	83,094	81.0	1,173,503	1,143.8	14.1
平成30年度	60,000	842 (※2)	58,827	69.9	980,739	1,164.8	16.7
令和元年度	85,000	1,114 (※3)	82,476	74.0	1,377,121	1,236.2	16.7

※1 予算額は補助金のみ当初予算額で事務費を除く。

※2 住宅性能向上リフォーム補助金との併用235件を含む。

※3 住宅性能向上リフォーム補助金との併用261件を含む。

【参考2】ながさき住みよ家リフォーム補助金の受付期間の実績

平成 29 年度	平成 29 年 4 月 12 日～9 月 20 日
平成 30 年度	平成 30 年 5 月 17 日～9 月 12 日
令和元年度	平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 9 月 19 日

【参考3】新型コロナウイルス感染症による建設業界への影響

(長崎県中小建設業協会ほか15団体へのヒアリング結果)

時期	業種	主な影響・課題等
令和2年 3月下旬 ～ 4月上旬	建設工事 管工事 電気工事	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模（公共）工事については影響なし ・引越し減による畳、襖など内装関連工事の停滞 ・住設機器を主とする中国生産資材の納期が未定 ・感染防止資材（マスク等）の確保が困難
	不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・引越しなど人の動きが低迷



令和2年 5月上旬	建設工事 管工事 電気工事	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模（公共）工事については影響なし ・民間工事における工期の遅れ（支払いの遅延） ・<u>中小建設業において、民間工事受注量は2～3割程度減少</u> ・建設資材の流通は落ち着きつつある
	不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸、売買の取引量の減少



令和2年 7月中旬	建設工事 管工事 電気工事	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模（公共）工事については影響なし ・民間工事受注量の減少傾向は継続 ・<u>受注量の落ち込みは、年度末から年度当初の出遅れ程度</u> ・<u>内装関連の工事は依然低迷</u> ・建設資材の遅延は、ほぼ解消
	不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸、売買の取引量の減少に伴う売上の減少

⇒ 民間工事における中小建設業の多岐にわたる業種への受注機会の創出を行う。

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
42～ 43	8 土木費	6 住宅費	1 住宅管理費	2-1	定住促進空き家活用 補助金	千円 2,000

1 概 要

空き家を有効に活用することにより本市への定住促進を図るために、空き家のリフォーム工事を行う場合に、その費用の一部を助成するもの。

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ポストコロナ社会を見据え、都市部等から市内への移住者等に空き家のリフォーム工事に係る補助を行い、住まいを確保することで、定住促進を図るため、増額補正するもの。

2 事業内容

(1) 移住支援空き家リフォーム補助金

内 容	市外からの住み替えを目的とした空き家のリフォーム工事	
対象者 (主なもの)	・空き家を購入又は賃借し、市外から転入する者(転入して1年以内の者) ・空き家・空き地情報バンクに登録済の空き家を所有する者(個人)	
対象工事	外壁屋根の張替え・塗装等 壁や床の張替え・塗装	台所・浴室・便所等の改修 水廻りの設備改修など
助 成 額	対象工事費の1/2(上限:500千円)	

(2) 周知方法

市ホームページなどの広報媒体を活用して周知するとともに、「ながさき移住ウェルカムプラザ」へ移住・定住の相談をされた方に対して、情報提供を行う。

3 事業費内訳

(単位:千円)

区 分	項 目	事 業 費	内 容
当初予算額	補助金	1,200	移住支援空き家リフォーム補助 @500×2件 空き家家財処分費補助 @100×2件
	事務費	1,280	広告料(広報ながさき折り込み)
補 正 額	補助金	2,000	移住支援空き家リフォーム補助 @500×4件
補 正 後	補助金	3,200	移住支援空き家リフォーム補助 @500×6件 空き家家財処分費補助 @100×2件
	事務費	1,280	広告料(広報ながさき折り込み)

4 財源内訳

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債	その他 ※2	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
当初予算額	2,480	—	—	—	100	2,380
補正額	2,000	2,000	—	—	—	—
補正後	4,480	2,000	—	—	100	2,380

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

※2 市町振興共同事業助成金 補助率 対象事業費（200千円）の1/2

【参考1】移住支援空き家リフォーム補助金の実績

年度	予定件数	交付件数	予算額(千円)	終了年月日
平成29年度	20件	2件	1,000	H29.12.18
平成30年度	3件	3件	1,500	H30.12.26
令和元年度	1件	1件	500	R1.7.16
令和2年度	2件	2件	1,000	R2.5.18

【参考2】空き家・空き地情報バンク利用希望者登録実績（累計）

年度	H29	H30	R1	R2
件数	21件	69件	151件	184件※

※令和2年度は7月末現在。

【参考3】空き家・空き地に関するホームページのアクセス件数 (単位：件)

令和2年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
件数	約9,300	約9,600	約7,700	8,957	12,220	13,027	12,261

【繰越明許費】 予算説明書 60～61ページ

8款 土木費 6項 住宅費 1目 住宅管理費

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
定住促進空き家活用補助金	予算現額	4,480	2,000	0	0	100	2,380
	支出予定額	2,480	0	0	0	100	2,380
	繰越明許額	2,000	2,000	0	0	0	0
繰越理由	定住促進空き家活用補助金の中の移住支援空き家リフォーム補助金のリフォーム工事に日数を要し、補助金の支出が年度内に完了しない見込みであるため。						